

事業名		平成 24 年度能登キャンパス学生課外活動事業「能登の祭り支援事業」
活動形態	活動場所	①穴水町沖波／②輪島市門前町／③能登町柳田／④珠洲市宝立町
	活動人数	①穴水町「沖波大漁祭り」：24 名（金沢星稜大学 24 名） ②輪島市「黒島天領祭」：65 名（金沢大学等 65 名） ④珠洲市「珠洲デカ曳山まつり」：15 名（金沢大学 1 名、石川県立大学 3 名、石川県立看護大学 4 名、金沢星稜大学 7 名）  【計 122 名】
活動内容		<p>担い手不足に悩む能登の祭りに学生を派遣する 4 つの課外活動を実施した。今年度は「能登・祭りの環プロジェクト」として、奥能登 2 市 2 町で行われる祭りについて、市町ごとに 1 つを選定・参加し、地域住民等との交流等を通じて、協働で地域伝統行事である祭りの魅力や地域課題について学んだ。</p> <p>①穴水町：沖波大漁祭り【8 月 14 日～15 日】 金沢星稜大学生 24 名が参加し、積極的に各地区に別れてキリコを担いだ。1 日目は午前中から深夜まで担ぎ、2 日目の午前中には立戸ノ浜の海中へとキリコを担ぎ入れた。祭りでは、同町で合宿中の大相撲追手風部屋と春日部屋の力士も参加し、祭りを盛り上げた。また、祭り終了後、沖波地区の住民との交流会に参加した。</p> <p>②輪島市：黒島天領祭【8 月 17 日～18 日】 今回、金沢大学医薬保健研究域教授の大竹茂樹先生の指導を中心に、金沢大学生 6 名と金沢星稜大学生 1 名の教員のサポートを得ながら、約 65 名の学生達が祭りに参加した。男子学生は神輿担ぎや曳山の舵取りを担当し、女子学生は旗持ちや太鼓曳きを主に行った。</p> <p>③能登町：柳田大祭【9 月 16 日】 ここ数年、継続的に金沢星稜大学経済学部の学生達が参加しており、男子はキリコや神輿を担ぎ、女子は各家でのよばれの準備等に関わっている。今回、本事業としては、これらの継続的参加の取組みを含め、祭りを見学するという形で、金沢大学生 1 名、石川県立大学生 2 名、金沢星稜大学生 15 名の合計 18 名の学生と、金沢星稜大学の教員 1 名が参加した。学生達は現地到着直後に、能登町ふるさと振興課から祭りについての説明を受け、祭りがおこなわれる白山神社周辺を視察し、深夜まで練り広げられたキリコや神輿、そして花火の大輪を見学した。祭りの最中、多くの地域の方々との交流を通して、祭りへの思いや担ぎ手不足による学生達への期待を感じた。</p> <p>④珠洲市：珠洲デカ曳山まつり【10 月 14 日】 昭和 40 年まで実施され、約 50 年間途絶えていたデカ曳山を平成 20 年に地域の有志が復活させ、5 回目を迎えた。保存してあった当時の車輪を使用し、当時の大きさ（約 16 メートル）に復元されたデカ曳山は非常に重く、唯一砂浜を移動させることもあり、</p>

約 200 名以上の曳き手の連携が必要である。

今回は、金沢大学生 1 名、石川県立大学生 3 名、石川県立看護大学生 4 名、金沢星稜大学生 7 名の計 15 名の学生と、教員が金沢星稜大学 2 名、石川県立大学 1 名参加した。

NPO 法人珠洲デカ曳山保存会からは、学生全員に法被が用意された。